

オルガン式アクセルペダル

実 願 昭 39-71246
出 願 日 昭 39. 9. 10
考 案 者 田村匡
川崎市大島町4の52
同 渡辺達夫
東京都大田区雪ヶ谷町749
出 願 人 いすゞ自動車株式会社
東京都品川区南大井6の22の10
代 表 者 楠木直道
代 理 人 弁理士 椎原英一

図面の簡単な説明

第1図は本案ペダルの実施例の縦断面図、第2図は第1図X-X断面の拡大矢視図、第3図a, b, cは各々本案ペダルの着脱機構中に設けたフアスナーの外観図、平面図、縦断面図である。

考案の詳細な説明

本案は自動車用アクセルペダル、殊に着脱装置をもつオルガン式アクセルペダルに関する。従来のオルガン式アクセルペダルは、つり下げ式アクセルペダル等と比較し、ペダルの足踏面積が大きいので、運転操作上、ブレーキペダル或いはクラッチペダルとの関連(交互)作動がすみやかに行なえる特徴がある反面、ペダルの踵置部が運転席の床面に固着してあるので、運転席床面に敷くカーペット自体にその取付、取外しの為にスロット(切り込み)を設けなければならない。そしてカーペットの取付、取外しの際にはアクセルペダルとカーペットのスロットを一致させて着脱する必要があるので苦勞する。又カーペットの踵置部がこすられて痛み易い欠陥があつた。

本案はオルガン式アクセルペダルの踵置部を運転席床面に固着せず着脱できるようにし、カーペットの取付、取外しを容易にならしめ又踵置部のカーペットの保護にも適する様にしたものである。

これを図について詳細に説明する。この実施例のオルガン式アクセルペダル1はポリプロピレンの様な弾力性に富み、且つ強大で耐油性の合成樹

脂でつくられている。ペダル1は足踏部2と踵置部3とからなり両者はヒンジ部4を介して一体とする。踵置部3にはその底部即ち運転席床面Fに接する面3'に一体的に1個又は複数個の雌フアスナー5を設ける。一方床面F側には、この雌フアスナー5と嵌合する雄フアスナー6を、ボルト13及びナット14によつて取付ける。この両フアスナー5, 6によつて着脱装置を構成する。雄フアスナー6はキノコ状をしており頭部6'は滑らかな曲線をもつ。上記雌フアスナー5には雄フアスナー6の頭部6'よりやや小さな孔7をあけその孔の途中を深くえぐつて凹み7'とし雄フアスナー6の頭部6'が嵌合する様にする。又孔7の奥には(図の上部に)ストツパー8を第3図bの様に数個設け雄フアスナー6の頭部6'を受け、雌フアスナー5には更にその側面に複数個の割り溝9を形成して雄フアスナー6の頭部6'が入り易くする。尚、10は雌フアスナー5の外周に設けた補強片であり、11は床面Fに敷いたフェルト、12はカーペットで、11', 12'はフアスナー部にあけた孔である。尚雌フアスナー5は踵置部3と別に作つて取り付ける様にしてもよい。このペダルの装着時には第1図、第2図の様に雌フアスナー5と雄フアスナー6が嵌合してペダル1は固定されているが、自動車内を清掃する場合などカーペット12を取り外したい時には、第1図の矢印の如くペダルの踵置部3'の一端を上方に引張れば雌フアスナー5はその割り溝9が開いて、孔7が弾力的に拡大し、雄フアスナー6の頭部6'が凹み7'から外れ、ペダル1を完全に床面Fから離すことができる。又、カーペット12を取り付ける場合にはペダルの踵置部3を持ち上げて床面Fのフェルト上にカーペット12をそのフアスナー孔11', 12'とを一致させて敷いた後、雌フアスナー5の孔7を雄フアスナー6の頭部6'に接触させてペダルの踵置部3を上方から踏み付けることにより取外すときと逆に雌フアスナーの割り溝9が開いて雄フアスナー6の頭部6'は孔7内に進入し凹み7'に嵌合しストツパー8に当つて固定される。

上記の様に本案ペダルでは踵置部3の底部3'と床面Fに雌フアスナー5、雄フアスナー6を各各設けて着脱できる様にしたから、カーペット等

(2)

実公 昭43-2574

の取付、取外しが容易であり、又、ペダルの組付も容易に行なうことができる効果がある。

実用新案登録請求の範囲

ペダルの踵置部の底部に複数個のフアスナーを

設けると共に、このフアスナーと嵌合するフアスナーを運転席床面に設けて着脱装置を構成しこの着脱装置によつてペダルの着脱を容易にしたことを特徴とするオルガン式アクセルペダルの構造。

図1

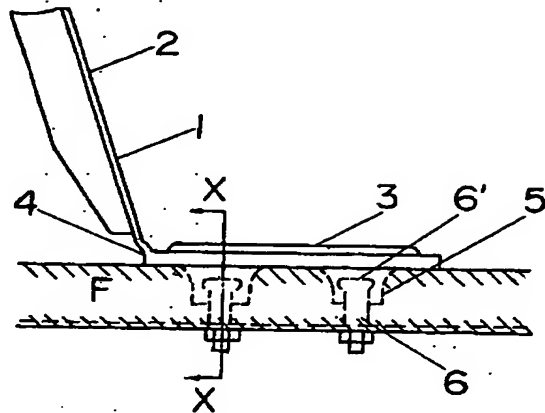


図2

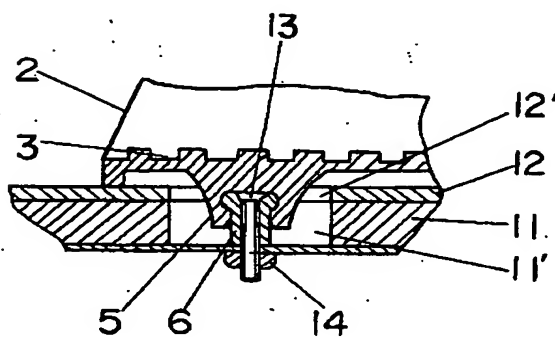


図3

